

株式会社大畑鉄工所

代表取締役 大畑博信 / 〒644-0005 本社：和歌山県御坊市名屋町1丁目8-3 / TEL:0738-22-1328
日高工場：〒649-1221 和歌山県日高郡日高町志賀3335 / TEL:0738-64-2263 / Mグレード / REAL4 2016年4月導入



“初の専用CAD” REAL4導入で戦力・信頼UP!! 加工トン数倍増へ

和歌山県にあるMグレードファブ、株式会社 大畑鉄工所。
以前は社長が汎用CADを使って図面を書いていたが、2016年、専務の入社を機にREAL4を導入。
さらに2019年にはS/F NCあなあけ3を導入。
それらの導入は時間短縮、加工トン数の倍増など、会社の確実な業績アップに結びついています。
同社の大畑博信代表取締役社長、大畑篤弘専務取締役役に、
株式会社ドッドウエルビー・エム・エス大阪支店の庄林部長と共に話を聞きました。

REAL4の導入は2016年4月ですね。導入の理由について教えてください。

大畑社長：それまでは私が汎用CADで図面を書いていて、以前から専用CADを入れたいとは思っていました。でも、どんなことがどこまでできるのか、よく分かりませんでした。そうした中で、息子である専務の入社をきっかけに、専用CADのREAL4導入を決めました。それまでは私一人で、汎用で図面を書き、型を取り、ボルトを拾い出し…と本当に大変でしたが、今はすごく楽になりました。
庄林部長：REAL4の全国的なシェアは非常に高いんですが、和歌山県ではまだまだという感じです。導入してくだ

さってありがとうございます。

導入に当たって他社のものと比較検討されたのですか？

大畑社長：はい。3Dを回転して見るときの操作性や、入力のしやすさ、分かりやすさ、管理資料の充実などの面からREAL4を選びました。先にREAL4を導入しておられた同業他社さんからも話を聞きました。

庄林部長：機能面から選んでくださった感じでしたね。

導入当初はいかがでしたか？

大畑専務：入力自体が分かりやすく、日をあまりかけずに使えるようになったと思います。S/F NCあなあけ3を入れたときは、インストラクターさんに2回来てもらいました。



大畑社長

今も自分でやってみて、分からないことがあるときや不安があるときには、サポートへ電話して教えてもらったり、確認したりしています。サポートがあるので安心です。

大畑社長：REAL4、導入してすぐ専務は使えるようになったという感じです。専務は大学で建築を学び、卒業後は木造の住宅メーカーに勤めていたので、鉄骨の仕事は入社してからですが、REAL4をすぐに覚えて即戦力になってくれました。

REAL4のどのようところが便利ですか？

大畑社長：打ち込むまでは時間が多少かかっても、その後のことが断然早いですね。打ち込む様子を見ていて、私が汎用でやっていたときは1週間かかっていたことが2日でできるようになった感じです。また、クリック一つでいろいろな管理資料が出てくることなど、以前の苦勞を思えば、本当に助かっています。

大畑専務：やはりリアルタイム3Dはとても便利ですね。干渉部材をすぐに確認でき、役に立っています。

大畑社長：意匠関係の方との打ち合わせのときにもノートPCを持って行き、3Dで見せると、分かりやすいので、すぐに決めてもらえるようになりました。

REAL4の特殊部品の機能は使っておられますか？

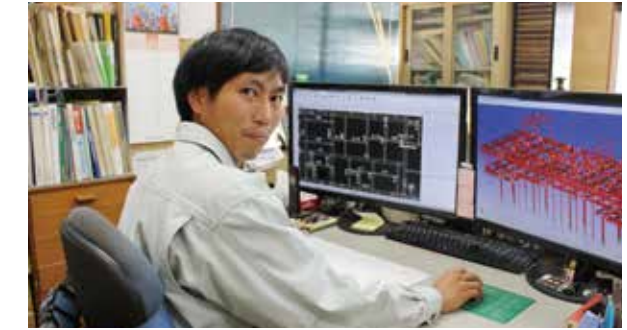
大畑専務：はい。最初のころから使っています。そのころは簡単なものだけ使うという感じでしたが、バージョンアップされてから、とても使いやすくなりました。後のことを考えると、詳細図や管理資料にデータが反映され、間違いやヌケを防げるので、汎用はできる限り使わず、特殊部品の機能を使っています。

ということは、専用CADと汎用CAD。今、使っている割合は？

大畑専務：汎用はほとんど使わないですね。専用が100%に近いです。アールや胴縁が入り組んだものなどは大変でしたが。

大畑社長：いろいろと勉強してやってくれているなあと思いつつ見えています。例えば、津波避難タワー。外回りがスロープになっていて、以前は私が汎用でやっていたんですが、今は専務がREAL4でやってくれています。

REAL4の魅力の一つとして、簡単な勾配設定で、階をまたぐ梁の入力ができることがありますが、そうしたことが役立っているわけですね。工区・分類・グループ分けの機能は



大畑専務

いかがですか？

大畑専務：便利ですね。いろいろと利用しています。

大畑社長：クレーン、トラックなどの計画を立てるときにも重量がすぐに分かるので助かっています。以前は電卓で計算していたので、数十分か、時間がかかっていましたので。

他にも役立っていることがありますか？

大畑社長：協力会社をお願いするときにも、分類の機能が役立っています。データは他社のCADでも使えるよう変換して渡してお願いしています。

庄林部長：S/F NCあなあけ3を2019年春に導入していただきました。使っていただいていますか？

大畑社長：はい。データはUSBメモリでNC加工機に移して活用しています。とても便利です。早く、間違いもなくなりました。

REAL4導入は時間短縮に結びついていますか？

大畑社長：はい。流れが良くなり、加工トン数は増えたのに、工場の残業は減りました。工場にもノートPCを6台置き、紙や画面で確認してもらいながらやっています。

加工トン数はどれくらい変わったのですか？

大畑社長：およそ倍になりました。図面が早くできるようになったので、受注量が増えたんです。現場の間違いも減り、お客様からの信頼が上がり、大きな物件にも声をかけてもらえるようになりました。振り返ってみると、REAL4は高い買い物ではなかったと思います。

今後への抱負などを教えてください。

大畑社長：REAL4をもっと使いこなし、さらに時間短縮につなげながら、工場とのコミュニケーションをもっとよくして、これからもお客様の信頼に応える、いい仕事をしていきたいと思っています。



会社外観